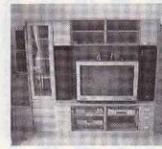
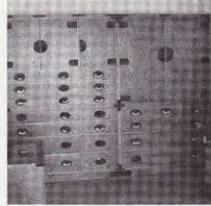


寺原正春 氏(42)

こだわりの総桐タンス。
除湿、虫除けの作用がある



四年後、思わず出来事が寺原さんを襲う。父親が倒れたのだ。脳内出血だった。それを機に家業に入るも、集中治療室の父親とは引き継ぎもできない。さらにマンション住宅の増加などによる住宅事情の変化が、タンスの需要に痛手を与えていた――。

途切れた滑走路を前に、若き継承者は重圧と赤字にとてかく耐え続けた。

その後、父親は回復し、仕事復帰を果たすが、寺原さんの試行錯誤は続く。そんなマルハラ木工を支えたのは、先代の言う「お客様へのサービス」だった。「皆さんめったにあることじゃないからね、迷ってしまうのは当然なんですよ」と話す寺原さん。オーダー家具受注の際は顧客の要望を伺い、その上でこちらからさらに尋ねる。「ここには指一本ぐらいいのスペースがあつたらいいかな」と、細部に至るまで顧客との会話を大切にする。

やがて家具という枠を超えて、寺原さんはキッチンの設計、施工などをするようになつた。電気や水道回りの技術も、現場の職人に教えてもらいつがれ身に付けていった。ガス取り扱いの免許も取得した。

ある日のこと。寺原さんの元に修理の依頼が入る。先代がタンスを売った先の孫からだつた。聞けば「祖母の家が火事になり、ほぼ全焼に近い中、寺原さんのところのタンスだけが残りました。焦げたタンスを手入れしてもらえないか」との話だつた。「祖母は亡くなつてしましましたが、タンスの中に燃えずに残つたものが形見になつたんです」と、孫は込み上げる思いを寺原さんに吐露した。

桐の無垢板にこだわり「百年保証」「孫の世代までの保証」に意欲を燃やす寺原さんにとって、この出来事は忘れられない。

こだわりのタンスで、世代を超えた家族の絆をつなぐ寺原さん。今年五人の子宝を授かり、寺原家にもう一つ、タンスが必要になる。

シリーズ J Junior Japan Joint ↗

先代が家具屋として創業した会社に、リフォーム

という大きな収入の柱が立つた。

リフォームで 新たな道を開いた継承者



厚木基地と東名高速道路にちょうど挟まれる位置にある店舗。防音対策のリフォーム受注も多い

有限会社マルハラ木工

創業／昭和43年
設立／昭和58年1月
本社／〒252-1105
神奈川県綾瀬市蓼川2-18-3
TEL／0467-76-7212
FAX／0467-76-7217

資本金／300万円
売上高／1億2500万円
従業員／8名
事業内容／家具、オーダー家具、システムキッチンの設計・販売・施工、リフォーム
<http://www5b.biglobe.ne.jp/~maruhara/>

TEL 0467-76-7212 FAX 0467-76-7217 E-mail: book@maruharajp.jp ホームページ: <http://book.maruharajp.jp>